

中期経営計画 (2021年度～2023年度)

■ ビジョン

お客さまや社会から最高の評価をいただく 資産管理専門信託銀行

わが国の経済を支え、国民のみなさまの財産を守る社会基盤になる

1 お客さまや市場の課題を解決するサービス

お客さまの資産運用をご支援し、市場がより円滑に運営されるようにするため、様々なサービス、先端機能をご提供してまいります

2 サービスを支える業務基盤

サービスを安定的かつ高品質で提供するとともに、多数の先端サービスを開発するため、人材、システム、組織体制等の基盤を常にみがき続けます

3 業務を支える経営体制

国民のみなさまの財産をお預かりする責任を全うするため、経営体制を充実させるとともに、不測の事態に備える業務継続態勢をさらに高度化します

ごあいさつ

平素は私ども日本マスタートラスト信託銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当社は2000年5月にわが国で最初の資産管理専門信託銀行として業務を開始しました。

おかげさまで、開業から22年を経てお預かりする資産も増加の一途をたどり、2023年3月末現在の当社資産管理残高は615兆円となりました。

当社は、お客さまや市場へ最高のサービスをご提供し続け、常に最高のご評価をいただける信託銀行となることを目指しております。

このために、人材、システム、組織などの業務基盤をみがき続けるとともに、不測の事態に備えた業務継続態勢をさらに高めてまいります。

引き続き、お客さまや市場参加者のみなさまからご評価、ご指名いただける会社を目指す所存でございます。今後とも格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

代表取締役社長 向原 敏和



経営理念

■ お客さまのニーズへの対応

お客さまの信頼と信用を旨とし、国内はもとよりグローバルにお客さまの多様なニーズに対し、的確かつ迅速にお応えする。

■ 資産管理総合サービスの効率的な提供

資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組む、最高品質の資産管理総合サービスを効率的に提供する。

■ 法令等の厳格な遵守と透明性の高い経営

法令やルールを厳格に遵守し、公明正大で透明性の高い経営を行い、広く社会からの信頼と信用を得る。

■ 適切なリスク管理

たゆまぬ事業の発展と適切なリスク管理により、企業価値の向上を実現すると共に、適時、適切な企業情報の開示を行い、揺るぎない信頼の確立を図る。

■ 社会への貢献

資産管理業務の発展に寄与し、環境に配慮した企業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する。

■ 社員の専門性向上に向けた職場環境の整備

社員が専門性を更に高め、その能力を発揮することができる機会と職場を提供していく。

経営ビジョン

資産管理業務の新たな発展に貢献し、
資産管理専門銀行として最高のサービスを提供する。

目指す姿

最高水準の資産管理総合サービスをグローバルな基準で
効率的に提供するリーディングカストディバンク

CONTENTS

中期経営計画	表紙裏
ごあいさつ	1
経営目標	2
会社概要	4
ガバナンス	6
当社について	8
提供価値	12

多様化／複雑化する投資マーケットへの対応	
お客さまのニーズに即した最適なソリューションのご提供	
資産管理に伴う付加価値業務のご提供	
お客さまとのコミュニケーションの深化	
基盤	26
サービス品質向上に向けた取り組み	
業務継続態勢	

リスク管理	34
リスク管理態勢	
コンプライアンス態勢	
情報セキュリティマネジメントシステム国際規格認証	
内部監査態勢	
外部監査態勢	
資料編	40

お客さま本位の取り組み

三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下MUFG)は、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、グループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」を策定、公表しています。

日本マスタートラスト信託銀行は、本方針に基づき、お客さま本位の取り組みを更に充実させてまいります。

「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」

(<https://www.mufig.jp/profile/governance/fd/>)

「日本マスタートラスト信託銀行の取り組み内容」

(https://www.mastertrust.co.jp/company/objective_f.html)

コーポレートスローガン



わたしたち、日本マスタートラスト信託銀行はコーポレートスローガンとして

「Be Professional」を掲げております。

わたしたち、日本マスタートラスト信託銀行は、全ての役職員がこのコーポレートスローガンを共有することにより、社員一人ひとりがマーケットで評価されるプロに成長し、資産管理サービス品質の高度化を推進し、真にお客さまに選ばれる資産管理専門銀行を目指しています。



商号および所在地

商 号 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
The Master Trust Bank of Japan,Ltd.

所 在 地 〒105-8579 東京都港区浜松町2丁目11番3号(MTBJビル)

銀行代理店 なし

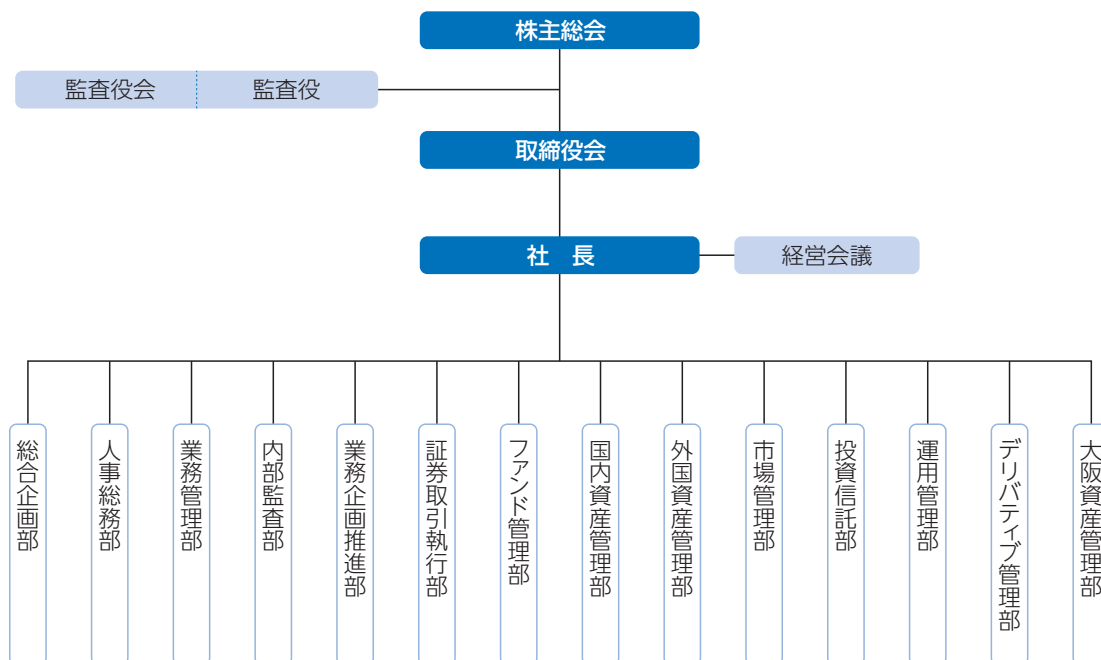
役員の状況

(2023年6月30日現在)

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
代表取締役社長	向原 敏和	取締役(非常勤)	伊藤 一勝
代表取締役副社長	櫛部 哲男	取締役(非常勤)	矢野 善裕
常務取締役	中島 淳之	監査役	渡辺 哲人
常務取締役	山本 晋広	監査役(非常勤)	馬林 秀治
取締役	武邑 淳史	監査役(非常勤)	都築 彰
取締役(非常勤)	伊原 隆史		
取締役(非常勤)	川久保 淳	常務執行役員	上野 剛
		常務執行役員	吉野 和成

組織図

(2023年6月30日現在)



株主一覧

(2023年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	55,800株	46.5%
日本生命保険相互会社	40,200株	33.5%
明治安田生命保険相互会社	12,000株	10.0%
農中信託銀行株式会社	12,000株	10.0%
合 計	120,000株	100.0%

格付け

(2023年6月30日現在)

格付け	長期	短期
日本格付研究所(JCR)		
スタンダードアンドプアーズ(S&P)		

コーポレートガバナンス態勢

■ コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、健全で持続的な成長を実現するため、取締役会と監査役、監査役会を中心としたコーポレートガバナンス態勢を構築しています。また、監査役会における半数以上の社外監査役の任用による「社外の視点」を導入することで、コーポレートガバナンスの強化を図っています。

■ 意思決定プロセスと取締役会の機能等

取締役会は、取締役の全員をもって構成され、当社の業務執行を決定し、取締役の職務の執行を監督しています。また、取締役会が決定した基本方針に基づき経営管理全般に関する執行方針等を協議決定する機関として、経営会議を設置しています。経営会議は、役付取締役および執行役員全員をもって構成され、常勤取締役および監査役等は出席して意見を述べることができます。

■ 監査役会等の機能

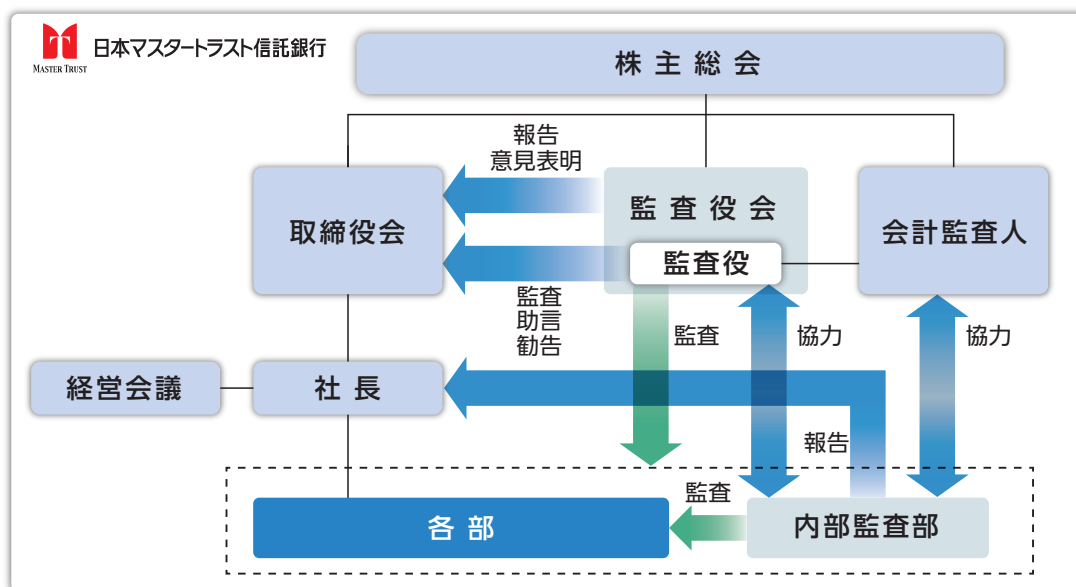
監査役会は監査役全員で構成され、監査の方針や計画等を決定するほか、会計監査人が独立した立場を保持し、適切な監査を実施しているかを監視し検証します。

監査役は、取締役会等の会議に出席し、必要に応じて意見陳述を行うほか、会計監査人等から受領した報告内容の検証や会社の業務および財産の状況の調査等を通じて、会社の意思決定の過程および取締役の職務執行の状況を監査します。

■ 内部監査について

被監査部署から独立した組織として、内部監査部を設置しており、被監査部署におけるリスク管理、内部統制、ガバナンスプロセスの適切性、有効性を検証、評価し、問題点の改善提言等を行っています。監査結果は、各役員に報告され、経営会議、取締役会にも定期的に報告されます。

■ 体制図



最高水準の 資産管理総合サービスを グローバルな基準で 効率的に提供

当社は、資産管理サービスとしてお客さまとのご契約によりお預かりした金銭や有価証券を、日本をはじめ世界各国の法制度に基づき、安全かつ確実に保管するとともに、お客さまやお客さまの代理人の運用指図に従い、有価証券の売買の決済や、発行体に対する議決権の行使を行います。

お客さまの新規市場への投資、新たな運用手法の採用、付加価値サービスの利用および安全性、効率性の向上などへのご要請にお応えするために、大規模なIT投資を継続するとともに、従業員の育成、組織の効率的運営を図り、より一層高度な、質の高いサービスのご提供を目指してまいります。

有価証券等の発行体

国、事業法人など



お客さま・
運用代理人



MASTER TRUST



保管・決済機関

日本銀行・保振・
海外カストディ銀行など



ブローカー

証券会社・銀行など

MTBJの歩み

2000. 5 営業開始

三菱信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）、日本生命保険、東洋信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）、明治生命保険（現・明治安田生命保険）、ドイツ銀行の共同出資により営業を開始

2000. 6 わが国で初めてオンライン情報サービスを開始

2001. 2 オンライン情報サービスと統合レポートサービスをあわせ、当社の情報統合サービスを「MaiNet（マイネット）」として提供開始

2001. 3 出資比率を変更 ～三菱信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）、日本生命保険、東洋信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）の出資比率を同率に

2002. 5 資産管理業務本格開始

三菱信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）からの資産管理業務の移管にあわせ、資産管理業務を本格的に開始

2002.10 UFJ信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）より、年金信託、特定金銭信託等の資産管理業務を移管

2003.11 UFJ信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）より、投資信託等の資産管理業務を移管し、株主信託からの資産移管がすべて完了

2004. 2 日本生命保険からの資産移管を開始

2005.10 出資構成を変更 ～三菱UFJ信託銀行の誕生等に伴い、出資比率を変更

2005.11 出資構成を変更 ～三菱UFJ信託銀行、日本生命保険、明治安田生命保険、農中信託銀行の共同出資会社

2007. 3 ISO27001取得

2010. 5 開業10周年

2012. 5 ISDA加盟

2020. 5 開業20周年

TOPICS!

2022.09

MTBJ News Letter 5,000号到達

2004年5月より開始した、運用会社様向け市場制度配信サービス(MTBJ News Letter)が5,000号に到達しました。

2022.10

資産管理残高 600兆円突破

当社が管理する資産の残高が600兆円を突破しました。

2022.11

デリバティブ管理部の新設

市場決済業務と資産管理業務の類似業務機能を統合するとともに、国内外のデリバティブ管理機能を一元集約する「デリバティブ管理部」を新設しました。

2023.01

「プラチナえるぼし」認定を取得

「プラチナくるみん」の認定に続き、女性の活躍を推進している企業として「プラチナえるぼし」の認定を取得しました。

■ 資産管理残高の推移

